

# DNS Update

## ～ドメイン名全般～

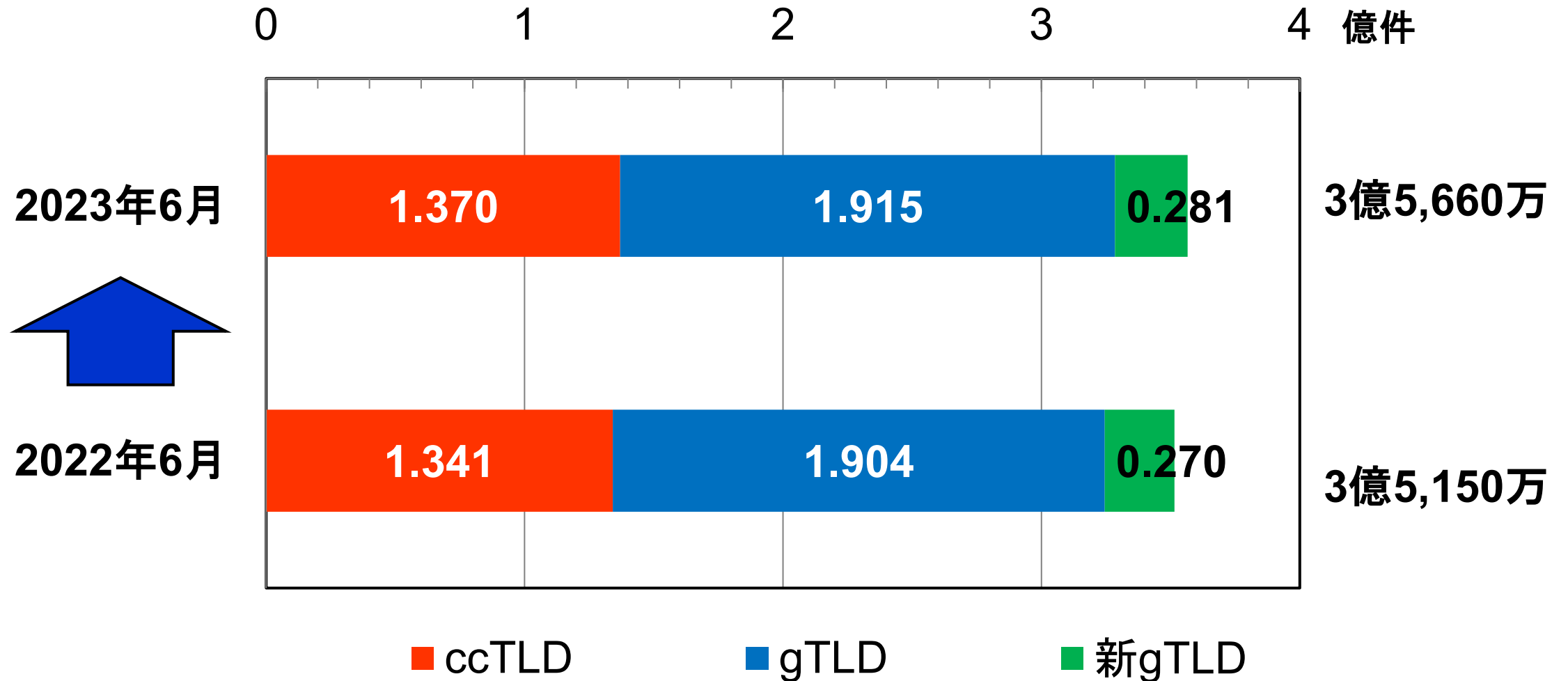
2023年11月21日(火)

Internet Week 2023 DNS DAY

高松百合(JPRS)

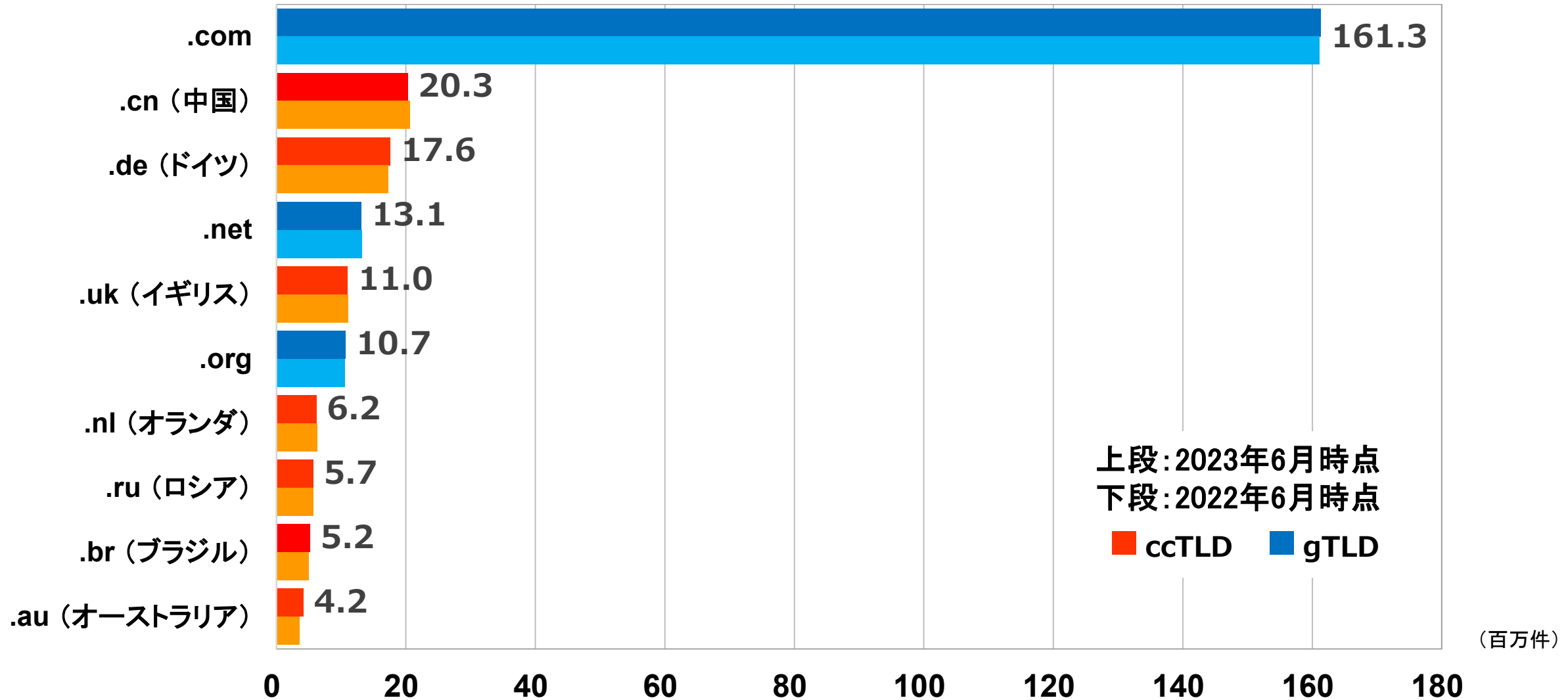
# TLD全体の状況

# 全TLDでのドメイン名数



「Verisign Domain Name Industry Brief<[https://www.verisign.com/en\\_US/domain-names/dnib/index.xhtml](https://www.verisign.com/en_US/domain-names/dnib/index.xhtml)>」より

# 登録数の多いTLD

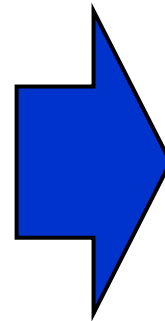


「Verisign Domain Name Industry Brief< [https://www.verisign.com/en\\_US/domain-names/dnib/index.xhtml](https://www.verisign.com/en_US/domain-names/dnib/index.xhtml)>」より

# 登録数の多いTLD

順位	TLD	件数(百万件)
1	.com	161.1
2	.cn(中国)	20.6
3	.de(ドイツ)	17.3
4	.net	13.2
5	.uk(イギリス)	11.1
6	.org	10.6
7	.nl(オランダ)	6.3
8	.ru(ロシア)	5.7
9	.br(ブラジル)	5.0
<b>10</b>	<b>.xyz</b>	<b>4.2</b>

2022年6月

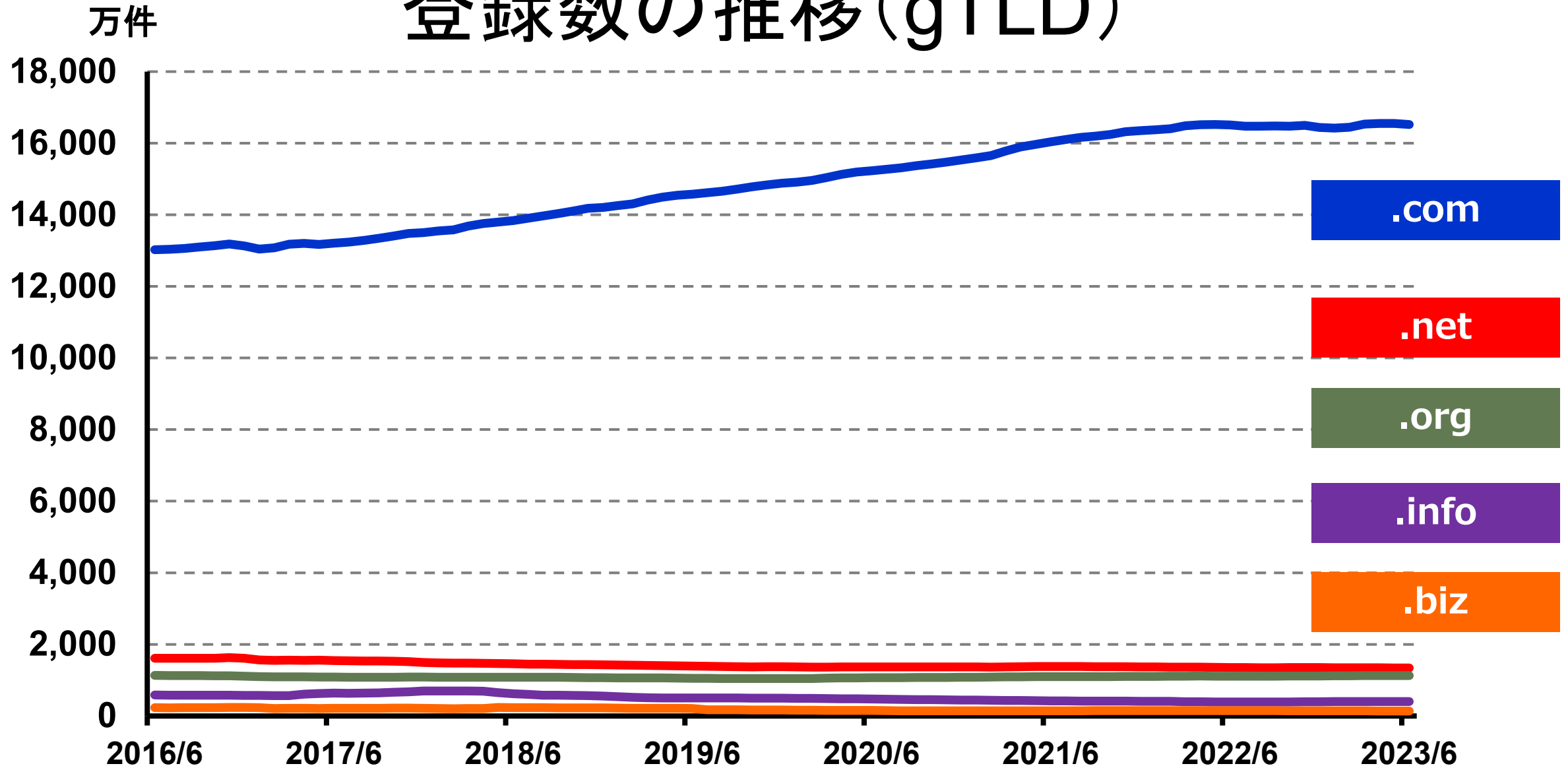


順位	TLD	件数(百万件)
1	.com	161.3
2	.cn(中国)	20.3
3	.de(ドイツ)	17.6
4	.net	13.1
5	.uk(イギリス)	11.0
6	.org	10.7
7	.nl(オランダ)	6.2
8	.ru(ロシア)	5.7
9	.br(ブラジル)	5.2
<b>10</b>	<b>.au</b>	<b>4.2</b>

2023年6月

「Verisign Domain Name Industry Brief< [https://www.verisign.com/en\\_US/domain-names/dnib/index.xhtml](https://www.verisign.com/en_US/domain-names/dnib/index.xhtml) >」より

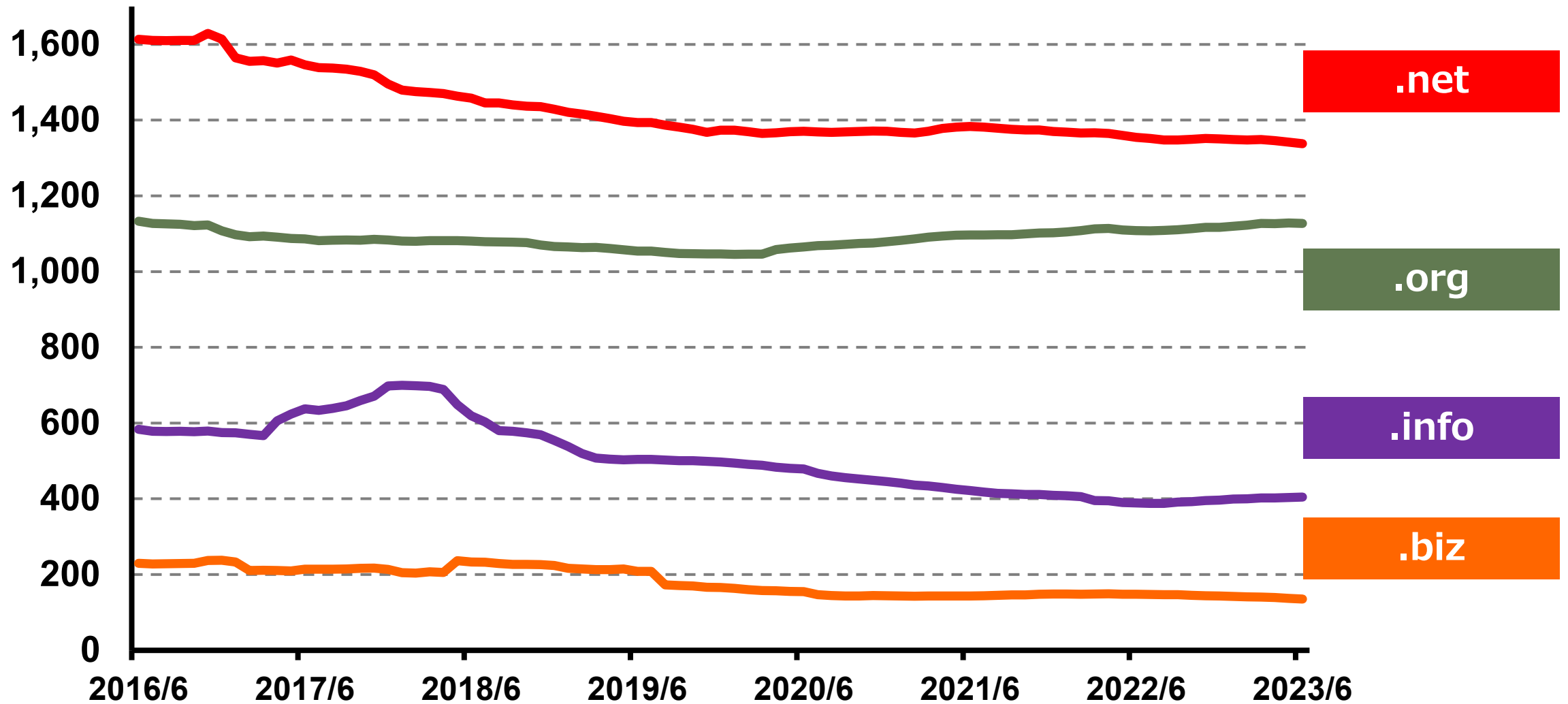
# 登録数の推移 (gTLD)



(ICANN発表値に基づく)

# 登録数の推移 (gTLD/.com以外)

万件



(ICANN発表値に基づく)

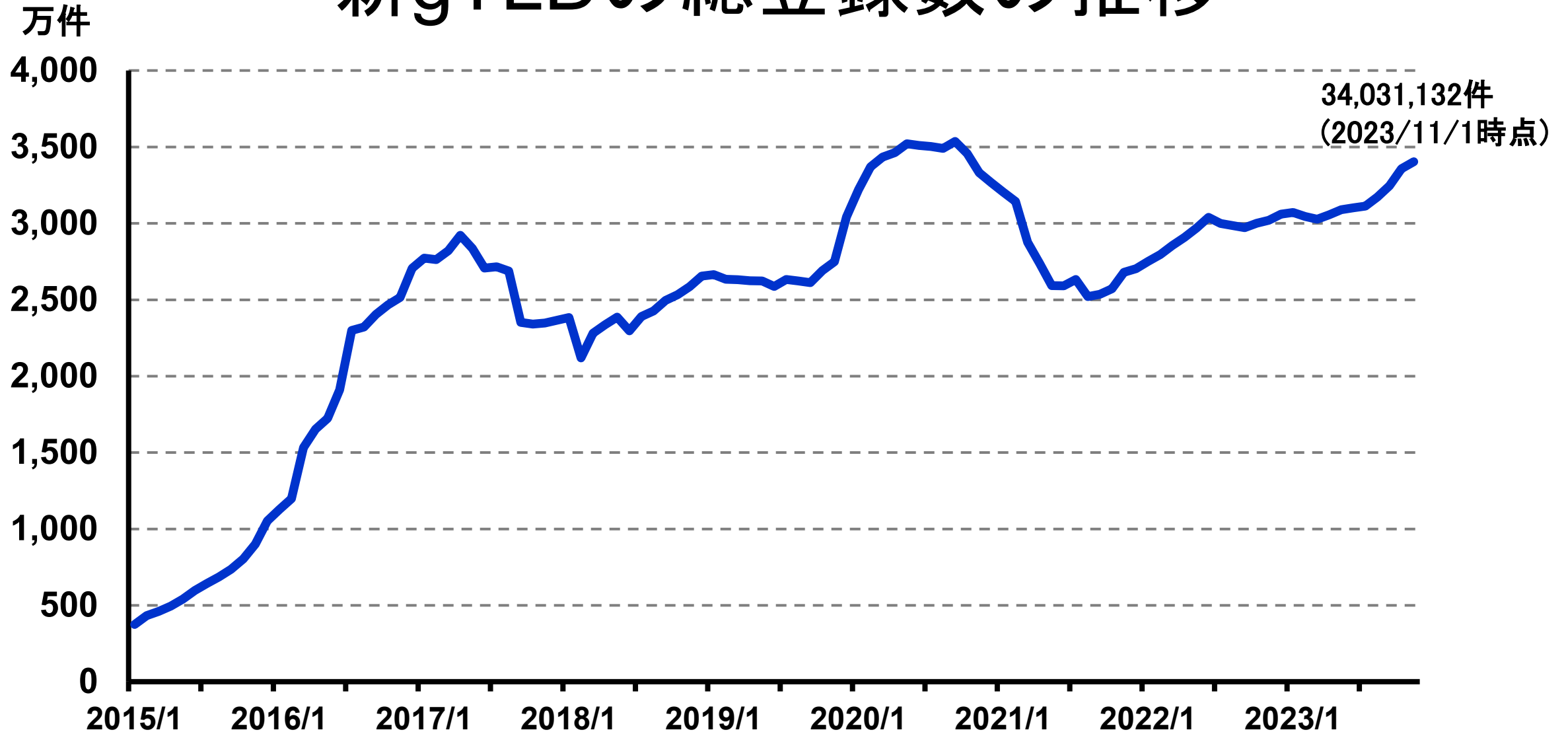
# 新gTLDの状況



# 新gTLDとは？

- ICANNはこれまでに、gTLDの追加を3回実施
  - 2000年
    - .aero、.biz、.coop、.info、.museum、.name、.pro
  - 2003年
    - .asia、.cat、.jobs、.mobi、.post、.tel、.travel、.xxx
  - 2012年
    - 追加数に上限を設けない形で実施され、1,200以上のgTLDが追加
- 2012年の募集で増えたものが「新gTLD」と呼ばれている
  - **引き続きgTLDを追加することを前提に**その方法がICANNの場で検討されている

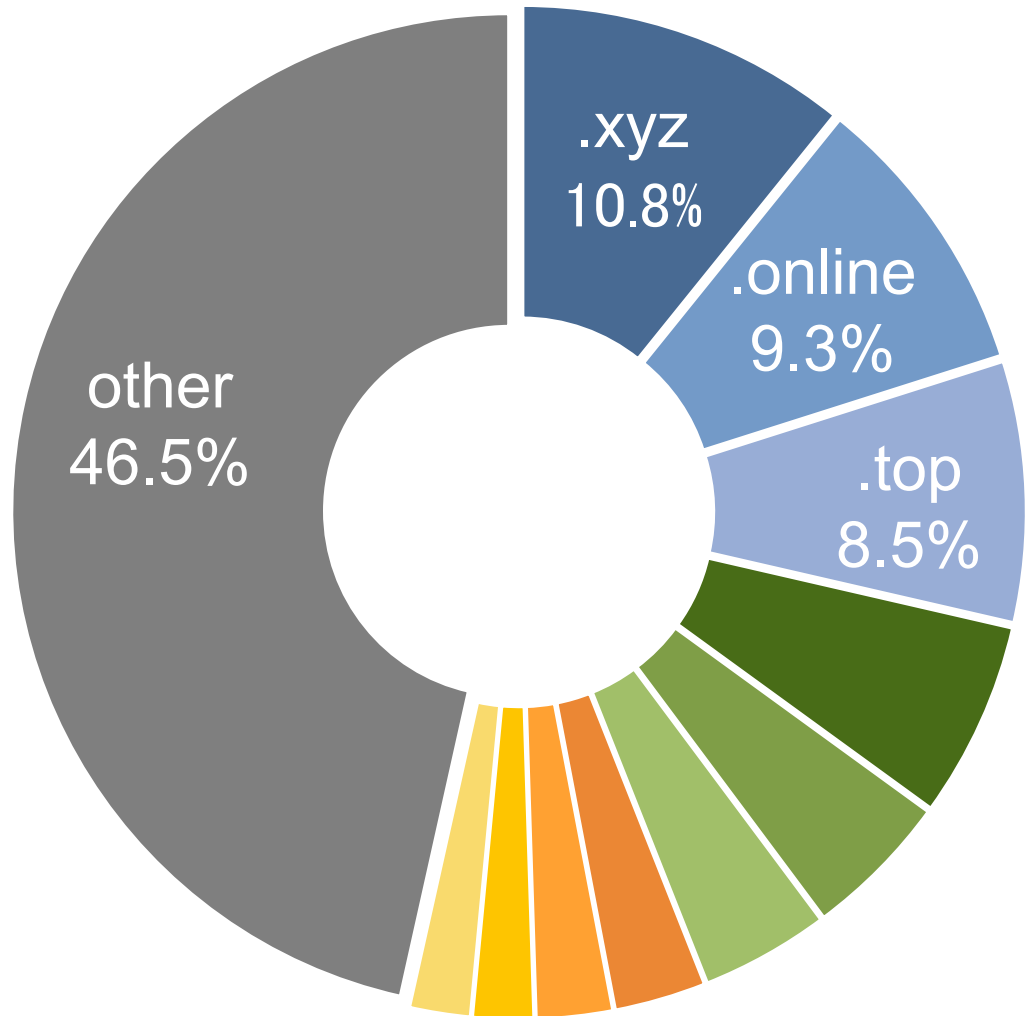
# 新gTLDの総登録数の推移



<<https://ntldstats.com/>> より

# 新gTLD登録数の内訳

(2023年11月7日現在)



	TLD	Domains	Share %
1.	.xyz	3,679,330	10.8%
2.	.online	3,164,310	9.3%
3.	.top	2,893,053	8.5%
4.	.shop	2,196,261	6.4%
5.	.site	1,636,716	4.8%
6.	.store	1,442,042	4.2%
7.	.cfd	1,023,820	3.0%
8.	.vip	857,333	2.5%
9.	.app	680,093	2.0%
10.	.live	673,168	2.0%

<<https://ntldstats.com/>>より

# gTLD追加までのステップ

- ・ 次回募集に向け以下6ステップで検討を進めている
  1. ICANN GNSO\* におけるポリシーの策定
  2. ICANN理事会における意思決定(事務局に検討を指示)
  3. ICANN事務局における設計・実施に向けた検討
  4. ICANN理事会における結果の評価・採択の判断
  5. ICANN事務局におけるスケジュール・手順の作成・公開
  6. 新gTLDの次回募集の開始
- ・ 現在、ICANN事務局において**ステップ5**の作業が進行中

\* GNSO: ICANNの支持組織の一つ。gTLD関連のポリシー案を策定し、ICANN理事会に勧告する。

# 2022年11月以降の検討状況

- 2022年12月12日にICANN事務局からICANN理事会に、次回募集実施に向けた検討結果（＊）が送られた（ステップ3完了）
  - ＊ gTLDの追加募集に伴って必要になる費用・人的リソースなどを含む具体的な検討
- 2023年3月16日のICANN理事会で、2023年8月1日までに次回募集の具体的な実装計画を提出するよう、ICANN事務局に求める旨が決議された（ステップ4完了）
- ICANN事務局から提出された実装計画が2023年7月27日のICANN理事会で受理され、実施に向けたICANN事務局の作業が開始された（ステップ5進行中）

# 募集開始時期の見通し

- ICANN事務局は、申請受付開始までに**3年かかる**と見込んでいる
  - ステップ5の成果である申請者ガイドブック(AGB)の完成が2年後の**2025年5月**
    - AGB: Applicant Guidebook  
gTLDのレジストリになることを希望する申請者向けに、プログラムの内容を詳細に記述した文書  
2012年当時のAGB < <https://newgtlds.icann.org/en/applicants/agb> >
  - ステップ6の申請受付開始が3年後の**2026年第2四半期**

# その他トピックス ～RDAP～

# WHOISの問題点とRDAPの標準化

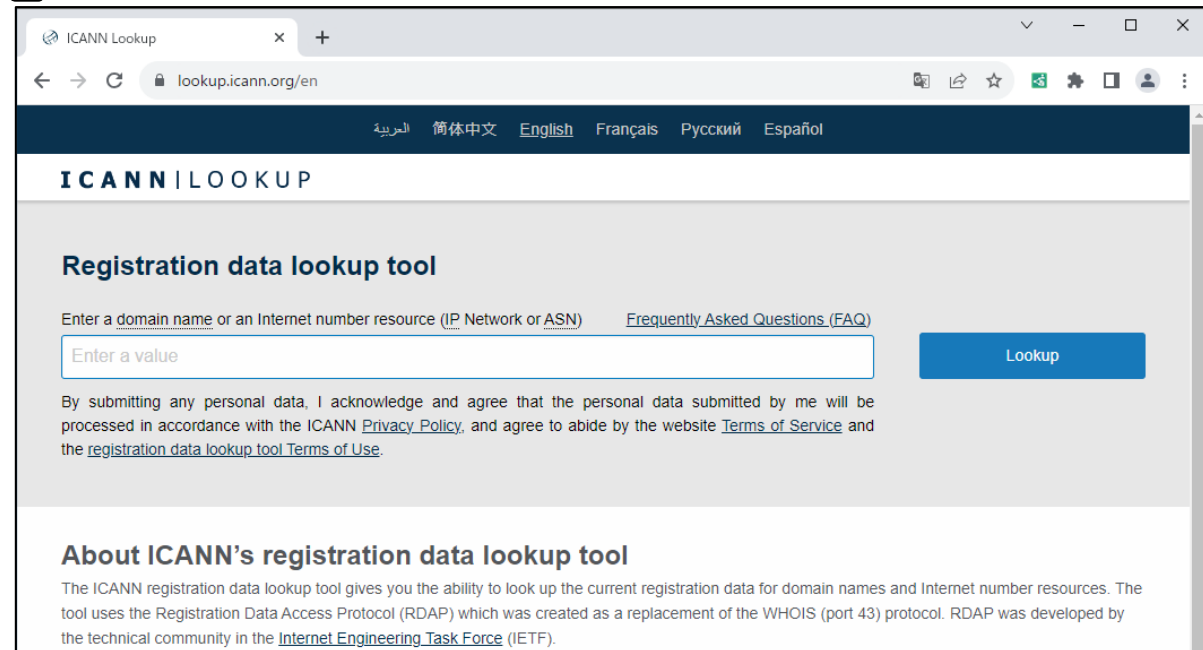
- WHOISは1980年代に開発された古いプロトコルで、以下のような問題点が以前から指摘されていた
  - ① 問い合わせ・応答の形式が標準化されていない
  - ② 検索対象とその問い合わせ先の対応管理が面倒
  - ③ アクセス制御・認証・許可の仕組みが定められていない
  - ④ 国際化に関する機能が定められていない
  - ⑤ 通信がプロトコルレベルで保護されていない
- これらの問題点を解決し、WHOISを置き換える新しい**RDDS**として、2015年に**RDAP**が標準化された
  - RDDS: Registration Data Directory Services
  - RDAP: Registration Data Access Protocol



# RDAPとは

- HTTPSでリクエスト、JSON形式で応答
  - Webベースでの提供・利用が容易
- RDAPに対応することで、WHOISと同等以上のRDDDSの提供・利用が可能
- ICANNがRDAPを使った検索サービス「ICANN Lookup」を提供

ICANN Lookup  
<<https://lookup.icann.org/en>>



# RDAPに関する動き

- 2023年8月7日に、gTLDのレジストリ契約(RA)とレジストラ認定契約(RAA)が改訂された
  - RDAPの提供は以前から義務だったが、SLA(WHOISと同等)が定められた(猶予期間180日:2024年2月3日まで)
  - 猶予期間後360日(2025年1月28日)以降、WHOISの提供が、契約上の義務でなくなる

要件	サービスレベル要件(月ベース)
可用性	ダウンタイムが864分(約2%)以下
問い合わせから応答までの時間	少なくとも95%が4000ミリ秒以下
更新時間	少なくとも95%が60分以内

jPRS